

【商業科・事務情報科】 3年次 【選択】科目「発展電子商取引」授業のシラバス

1 概要

教科名	商業	科目名	発展電子商取引	単位数(コマ数)	2(105)
科目の目標	企業活動に必要なデザインに関する知識と技術を習得し、各種メディアで作成した情報を統合することの重要性を理解し、ビジネスの諸活動において情報を効果的に発信する能力と態度を身につける。				
教科書(出版社)		副教材(出版社)	[2年次「電子商取引」で使用した教科書] ※ 授業開始後に指示・購入します		

2 学習の方法

(1) 予習について

教科担当の先生の指示に従ってください。

(2) 授業について

毎時間の授業を大切に集中して取り組んでください。疑問点は遠慮なく質問してください。

先生の指示に従い、授業で使用するものを確認してください。もし忘れた場合は、授業が始まる前に教科担当の先生に申し出てください。この授業で使用するファイルは「プラスチックの赤(ピンク)」です。

コンピュータを使用しての実習になりますので、早めに教室移動して準備をしてください。

(3) 復習について

ノート、プリント等で、その日にやった内容を確認しておくといいたと思います。疑問点や分からない点は、教員や友人に聞いて、早めに解決しておきましょう。

放課後や昼休みにはパソコン教室の使用を許可し開放しますので、自ら進んで復習に取り組んでください。

〈学習アドバイス〉

授業では、2年次の電子商取引で学んだ知識・技術を活用や応用し、実際の企業で使えるようなWebサイトの作成の仕方を習得していきます。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	企業活動に必要なデザインについて関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を効果的に発信することを目指して主体的に取り組もうとするとともに、各種メディアで作成した情報を統合する実践的な態度を身に付けている。
② 思考・判断・表現	ビジネスの諸活動において情報を効果的に発信することを目指して、思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
③ 技能	企業活動に必要なデザインに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動において情報を効果的に発信することを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
④ 知識・理解	企業活動に必要なデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、各種メディアで作成した情報を統合することについて理解している。

(2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

観 点	評価材料		定期考査・確認テスト	ノート プリント	発言 発表	グループ ワーク	課題	作品
	割合							
① 関心・意欲・態度	10%	○	その分野が日常生活にどのように生かされているかを問うことがあります。	○	○	○	◎	◎
② 思考・判断・表現	25%	◎	情報を効果的に発信するために、企業活動に必要なデザインをふまえて考察し、的確に表現できるか。		○	○		◎
③ 技能	40%	◎	プリント、実習				○	◎
④ 知識・理解	25%	◎	プリント	○		○		◎

〈担当者からのメッセージ〉

- 卒業後、社会の即戦力になれるよう、情報通信ネットワークに関するスキルを身につけてください。
- 就職者はもちろんですが、進学者もいずれは就職します。その時に、自社のWebサイトを制作することができたり、リニューアルできるようにしていきましょう。

【商業科・事務情報科】 3年次 【選択】科目「発展電子商取引」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考査等
前期 4	1 Webサイト作成(発展)	9				
5	1-1 HTML5に準拠したタグの利用	12	<ul style="list-style-type: none"> HTML4とHTML5の違いについて フォーム機能の拡張 動画や音声データを扱う 	①	ウェブページ制作について関心を持ち、利用者の立場に立ったウェブページ制作を目指して、主体的に取り組んでいる。	前期中間考査 または 作品制作
6	1-2 CSS3に準拠したスタイルシート	12	<ul style="list-style-type: none"> ボックスや枠線の表示・装飾(border-radius) テキストの配置・装飾(transform, gradient) アニメーションをつける(animation) セレクト 	②	ウェブページの制作に必要なデザインや技法について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ウェブページを活用して広告や広報を行うために適切に判断し、表現することができる。	
7	1-3 アクセシビリティに配慮したWebデザイン ①レスポンシブデザイン	12		③	ウェブページ制作について、基礎的・基本的な技術を身につけ、より明確に文書構造を示すことができる。	
8		6	<ul style="list-style-type: none"> レスポンシブデザインについて レスポンシブデザインの作成方法 	④	ウェブページ制作について、基礎的・基本的な知識を身につけ、企業活動に必要なデザインに関する知識と技術を理解している。	
9	②リキッドレイアウト	12	<ul style="list-style-type: none"> リキッドレイアウトについて レスポンシブデザインとリキッドレイアウトの違いについて 			前期期末考査 または 作品制作
後期 10	1-4 SEOとアクセス解析	15	<ul style="list-style-type: none"> SEO対策 SEOとアクセスの分析 SEO対策に配慮したホームページの構造 	①	CMSに関心を持ち、活用方法に関する知識を身に付けている。	
11	2 CMSの利用	15		②	ウェブサイトの特徴や目的を理解し、適切なCMSを選択することができる。	卒業制作
	2-1 CMS(コンテンツマネジメントシステム)の種類と特徴	15	<ul style="list-style-type: none"> CMSの特徴 CMSの種類 	③	CMSを活用したウェブサイトを作成することができる。	
	2-2 CMSを利用したWebサイトの構築	9	<ul style="list-style-type: none"> CMSを活用したページの作成 	④	各種CMSの特徴を理解し、代表的なCMSについて説明することができる。CMSの活用方法を理解している。	
12	3 LWLの利用	3	<ul style="list-style-type: none"> LWLの特徴 LWLの種類 データベースを活用したWebページ制作 OSSについて OSSの活用 	①	LWLに関心を持ち、活用方法に関する知識を身に付けている。	
1	3-1 LWL(ライトウェイトランページの)種類と特徴	3		②	LWLの利用とデータベースについて理解し、効率よく情報を選択することができる。	
	3-2 LWLの利用とデータベース			③	データベースを活用したウェブページを作成することができる。OSSを活用したWebサーバの構築ができる。	
	3-3 OSS(オープンソースソフトウェア)を活用したWebサーバの構築			④	LWLについて説明することができ、データベースを活用したウェブページの作成方法を理解している。OSSを活用したWebサーバの構築方法を理解している。	
		計 105				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。